

福島の復興からカーボンニュートラルへ

～第4回エコ・カレッジ現地視察会～

「震災から復興へ：産業の回復や再生可能エネルギーの普及に関する最新情報」

10月21日（金）、第4回エコ・カレッジ現地視察会を開催しました。今回は、福島県にある星の村天文台、あぶくま洞、コミュタン福島の3施設を視察しました。職域コース及び職域アドバンスコースの受講生と事務局員含めて約60名が参加し、大型バス2台での視察となりました。

【星の村天文台】

福島県磐越自動車道沿いに位置する田村市。ここは「天に星、地に鍾乳洞、人に愛」をテーマに掲げた自然豊かな町を代表する施設。それが星の村天文台。田村市がある阿武隈高原は、大きな街から離れており、人工的な明かりの少ない自然に囲まれた場所。標高は640メートルと高く、空気が澄みきっているため、天文台の設置に非常に適していたそうです。1992年（平成4年）8月、あぶくま洞に隣接した星の村天文台を建設。その周辺一帯を「星の村」と命名し、「星の村会館」や「星のビレッジ」などの整備を行ってきた歴史ある美しい場所です。

2011年3月11日、東日本大震災によって主力の65cm反射望遠鏡が倒壊してしまいましたが、それから一年半、全国各地の公開天文台やプラネタリウム、天文ファンから続々と応援のメッセージや寄付金が寄せられ、避難生活を送る人々からの応援もあったことで新しい望遠鏡が再建。今日に至るまで天文台として活躍し続けているそうです。そんな望遠鏡の愛称は「絆 KIZUNA」。今回の現地視察会は昼間に行ったため、天文台を通して夜空を見ることはできませんでしたが、プラネタリウムを鑑賞しました。丁寧な解説のもと夜空に思いを馳せることができました。



星の村天文台で記念撮影



プラネタリウムで夜空を鑑賞

【昼食】

お昼休憩となりました。田村市のテーマは「天に星、地に鍾乳洞、人に愛」ともあるように、星の村天文台から歩いてすぐのところにあぶくま洞があります。

昼食後にあぶくま洞へ入ることができました。



【あぶくま洞】

全長 600m の洞内に、種類と数の多さでは東洋一ともいわれる鍾乳石が続いています。一般コースを歩くと約 40 分ほどかかりますが、一步進むごとに鍾乳洞の質感や造形が変わります。さらに鍾乳洞を色鮮やかなライトアップすることで、より幻想的な世界観となっていました。まるで異世界に迷い込んでしまったような気持ちになります。



先ほどまで空に想いを馳せていたのに、今度は地中へ。地球の外にある様々な星々へわくわくした気持ちが、今度は内側へ向いていきます。地中に隠れた神秘を視覚、聴覚、触覚など、歩いたり触れたりするたびに五感が刺激されてドキドキしました。

また、洞内の安定した環境を利用したワインセラーが設置されており、洞窟の内外にも様々な生き物が生息していたことから、人と自然の共存の形も垣間見えます。

そんなあぶくま洞は、1969年、石灰岩を採掘中に発見されたそうです。翌年、日本大学の探検隊が洞内を調べ、現在の観光地となったあぶくま洞主洞部を発見。1973年に整備が進み、今のように一般公開されるようになったそうです。

【コミュタン福島】（福島県環境創造センター交流棟）

福島環境創造センターは、原子力災害からの「環境回復と創造」に向けた取組を行う総合的な拠点として、福島県が設置した施設です。そんな福島環境創造センターでは、交流棟「コミュタン福島」を設けており、そこでは模型や映像、グラフィックなどで東日本大震災とそれに起因する原子力災害の状況、災害からの歩み、現在の状況について総合的に伝える展示室を整備しています。

ところで、コミュタンってどういう意味なのでしょう。とガイドの方に聞いてみたところ「コミュ」は「コミュニケーション（交流）」という意味で、「タン」は福島県のマスコットキャラクター「キビタン」からきていると教えてくれました。



その名の通り、子供から大人まで楽しく学ぶことができる設備が整っていました。

展示内容は「ふくしまの3・11から」に始まり、「ふくしまの環境のいま」「放射線ラボ」「環境創造ラボ」「環境創造シアター」などとなっており、それぞれの解説をしていただきながら福島について学ぶことができました。

震災ではいったいどれだけの被害があったのか。

原発事故後はどう過ごしてきたのか。

実際に福島に住み、実際に体験した方々のリアルな話を交えて見聞きする展示物は、とても強く記憶に刻まれます。また、放射線についての説明では、今実際に空間を飛び回る放射線を可視化し、放射線から身を守るための知識などが展示されていました。

さらに福島のこれからとして、再生可能エネルギーを中心とした環境創造センターらしい展示もあり、そこでは太陽光発電や地熱発電など、原子力に依存しない福島を実現させるために努力している姿を見ることができます。



コミュニタン福島で記念撮影

全球型の「環境創造シアター」では、360°のスクリーンに映し出された原子力に関する解説を見ることができ、また「ふくしまの歩みシアター」では震災当時の映像を交えつつ学ぶことができるなど、とても有意義な学習をすることができました。



震災と再生可能エネルギーの案内



環境創造3Dシアター

今回の視察にご協力いただきました、星の村天文台、あぶくま洞、コミュニタン福島の皆様に厚く御礼申し上げます。